



明園

学校だより 第11号

令和2年3月13日 発行

札幌市立明園中学校

<http://www.meien-j.sapporo-c.ed.jp>

第59回卒業証書授与式に向けて

校長 菊池 浩樹

本日、明園中学校を卒業する117名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この1年、明園中学校の顔としてよく頑張ってくれたことに敬意を表します。そんな皆さんに最後の言葉を送りたいと思います。

「人生の方程式」 人生の結果 = 能力 × 熱意 × 考え方

これは、27歳で今の京セラを創設し、一流企業にした稲森和夫氏の言葉です。

稲森和夫氏は京セラから、KDDI (au のほうが伝わるかな) の名誉会長を務め、さらに、潰れかかった日本航空 (JAL) の会長に78歳で就任し、会社再建を成し遂げた人です。

その稲森氏の考え方を表したフィロソフィ (稲盛氏の会社哲学とでもいう意味でしょうか)、の中に、上記の言葉があります。

どのようなことかという、人によって「能力」と「熱意」は0から100、能力か、熱意のどちらかが0であれば、掛け算の結果は0、つまり、何も結果がでないのです。

さらに「考え方」は+100から-100まであって、「能力」、「熱意」はプラスでも、「考え方」がマイナスだと、結果は0以下、つまりマイナスになってしまうということです。

「能力が高いが努力を惜しむ人よりも、^{けんきよ}謙虚に自分にはたいした能力はないと思って誰よりも努力した人の方が、素晴らしい結果を残すのです。そして、さらに考え方が重要で、ほんの少しの否定的な考え方を持っただけでも、人生の結果はマイナスになってしまうのです。能力や熱意とともに、人間として正しい考え方を持つことが大切、ということです。」

これから新しい道を歩む皆さんが、うまくいくことばかりではないと思います。そのようなときに、人間として正しい考え方「嘘をつくな、正直であれ」「人をだましてはいけない」「欲張るな」で歩むべきであるということです。これらは、これまで家庭でも学校でも、当たり前と言われてきたことです。

つまり、その当たり前のことを貫き通すことこそ、生きていくうえで最も大切なのです。

今年度の卒業式は例年とは違う形で行うことになり、残念ではありますが、これも子どもたちにとっては、一つの思い出となる、と前向きな「考え方」のもと行わせていただきました。ぜひ、卒業生の保護者の皆様におかれましても、ご理解をいただきたいと思います。

最後になりますが、保護者の皆さまには心よりお祝いとお礼の言葉を申し上げます。これまで大切に育てられたお子様が義務教育を終えられることは、感慨もひとしおのことと拝察いたします。この3年間本校の教育活動にご協力、ご支援を賜りましたことを心よりお礼を申し上げます。本当にご卒業おめでとうございます。

答辞(お別れのことば)

卒業生代表 3年3組 吉元 蒼波

雪が解け始め、だんだんと暖かな春の兆しを感じ始めました。今日のこの日を迎え、私達は、3年間、慣れ親しんだこの明園中学校を卒業します。

今年は、2月28日から始まった、新型コロナウイルスによる休校で、不安を抱えて受験に臨んだ人も少なくないと思います。卒業前の友達との大切な時間を学校で過ごすことができず、休み期間も外で遊ぶことができず、今日まで少し窮屈な日々だったと思います。

そして、今日は、例年とは違う卒業式となりました。しかし、私達は3年間でたくさんの思い出をこの明園中学校で作ってきました。普段の日常生活の中で、大きな行事の中で、皆さんそれぞれの中に今、思い出されていると思います。誰かとけんかをしたあの事、怒られてしまったあの事も、今では懐かしい思い出になっているでしょう。

私達がこうした素敵な思い出を作るとき……そこには必ず先生方、仲間、後輩、そして家族の支えがありました。日々の学校生活で、私達を正しい方向へと導き、休み時間などには相談にのっていただいたり、受験期には背中を押してくれる言葉をたくさん言っていただいた先生方……。部活動を行っていた人は、共に練習し、励まし合い、時には休日と一緒に遊んだ後輩……。そして、何より保護者の皆さんには、いつも私達のそばに寄り添い、生活面でも精神面でも私達を支えてきてくださいました。私達を心身ともにここまで成長させてくださった保護者の皆さん、本当にありがとうございました。

先生方、職員の皆さん、ここにはいませんが、在校生の皆さん、これまで数々の行事だけではなく、今日のためにメッセージカードや装飾を作ってくださいありがとうございました。休校という時間のない中で、私達のことを気遣ってください、心から感謝いたします。ありがとうございました。

——同じ空の下 どこかで 僕たちは いつも 繋がっている——

これは、今日、私達が歌うはずだった「友～旅立ちの時～」の歌詞の一部です。何度も音楽の時間に練習してきましたが、一度も全員で合わせることなく今日を迎えてしまいました。3年間の集大成を先生方、在校生、保護者の皆さんに感謝を込めて届けたいと思っていたので、寂しく感じています。

しかし、ここにいる卒業生117人全員が、この歌を知っています。全員で声を合わせられなくても、全員がこの歌を覚え、音楽で何度も植村先生と歌った事実は消えません。これからの高校生活の中で、辛く、嫌になることもあるかもしれませんが。そんな時、この歌を思い出し、私達を大切に思ってくれる人が、この空の下にたくさんいることを忘れないでいましょう。私達は、必ず一人なんかではありません。

私達は、今日、この明園中学校を旅立ち、新たな生活をスタートさせます。この3年間、私達に関わってくださったすべての方々に感謝いたします。本当に、ありがとうございました。これからも、明園中学校での3年間の学びや感謝の気持ちを忘れずに、一人一人が「安心・笑顔・本気・人のため」の言葉を心に刻み、精進していくという誓いを胸に、お別れの言葉とさせていただきます。



HPによる卒業式の写真掲載

HPの左側「活動の足あと」に「令和元年度卒業式」のカテゴリーを設けました。閲覧の際のパスワードは となり ます。